

2025年10月17日 (第5回)

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	66-1035
園名	さんいく保育園有明

1. 活動のテーマ

<テーマ>

2025年10月17日

お芋について知れたかな？お芋ほりに向けて、芋の特徴や今までの学びの復習クイズ大会！お芋について知ったことをうたにしてみよう！

<テーマの設定理由>

2. 活動スケジュール

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

葉っぱの特徴などをクイズにすることでより深く栽培しているさつまいもやじゃがいもについて興味関心を向けられるようにした。また、さつまいも堀りに向けて、さつまいもの収穫の目的が持てるように、さつまいもをどのように調理するかなど、クイズまたは話し合い、歌をつくるなどをみんなで行う場を設けることをテーマに設定した。

①芋ほりセブンの手紙→②お芋クイズ(2回目に行ったクイズの復習→どの芋の葉っぱなのかクイズ→どの芋のスイーツかクイズ)→③デザートについて話し合い→④芋のうたを考えよう

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

芋ほりセブンの手紙がキーポイントなり、今までの活動を振り返ることが出来ている様子だった。楽しく学べるように2択で移動するクイズ大会にすることで、体を動かしながら、楽しくクイズに参加する様子があった。栽培しているさつまいもやじゃがいもの写真を用いたクイズで、実際の植物を部屋の中から観察していく様子などがあり、興味をより一層持っている様子でした。また、お芋ほりの芋を何にしたいかを話し合うなかで、「芋の中身をくり抜いてフルーツを入れたデザート」など創造力のあるデザートの意見が沢山でした。芋のお歌についても、積極的に参加し、歌が出来ていく様子があった。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

クイズを通して、子どもたちから「さつまいもは外の色は紫色だけでなく白色もあるんだよ (2回目のすくわく内容)」の声が上がるなど、お芋の知識が身についている様子があった。芋ほりセブンの手紙の音読中に頷く子どもたちの様子があった。芋ほりセブンからの手紙が振り返りのポイントとなり、「すくわく」の活動を子どもたちが受け入れられている様子。芋ほりセブンとともにすくわく活動をすすめていきたい。